

# F P まつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

## ご挨拶

30年続いた「平成」もあとわずかです。皆さんにとっては「平成」はどのような時代だったでしょうか？

保険や年金などを検討するうえではとても大きな変化があった時代でした。

今では当たり前のように使っている「少子化」という言葉ですが、もともとは「一番若い子。末子」という意味で、「子どもが少ない」という意味ではなかったそうです。

初めて公式に「少子=子どもが少ない」という意味で使われたのは「平成4年度国民生活白書」です。

その後、平成10年の岩波書店・広辞苑に、「出生率が低下し、子どもの数が減少すること」、「平成4年の国民生活白書が語源であること」、が記載されました。

それだけ日本の少子化・高齢化が急速に進展している、という事なのですね。



## 今月号のちょっと気になるお金のコラム

今月は子どものお小遣いについて調べてみました。お小遣いも世相を反映しているのですね。興味深かったのは、小学生のお小遣いの使い道ランキングの1位が●●に変わったことです。

## 海外で病気やケガになったら

今年のGWは例年より長い連休を利用して海外で過ごす方もいるかもしれません。事故やケガ・病気になると楽しい旅行が台無しになってしまいます。十分に注意して楽しんで来てください。

## 日本で加入している健康保険からお金が戻ってくる場合があります。

現地でかかったお金と同じ治療を日本で受けた場合にかかったであろうお金との少ない方が戻ってきます。詳しくは健康保険組合連合会HPをご確認ください。

(<http://www.kenporen.com/health-insurance/kaigai-ryoyou/>)

## 保険会社で加入している医療保険も、海外での治療に対応できる場合があります。

必要書類や手続きが異なりますので、事前に確認の上、カスタマーセンターの電話番号を控えておくとういでしょう。

## 海外旅行保険を検討しましょう。

最近クレジットカードに付帯している海外旅行保険も充実していますが、病気やケガの種類によっては、カード付帯の海外旅行保険の限度額を大幅にオーバーするケースもあります。中には「こんなに！！」というような高額費用もあります。

ただでさえ不安な海外での治療です。

しっかりと検討、準備をしてお出かけください。



F P 松本相談センター  
CFP・IFA (金融商品仲介業)

媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250 090-8741-7358

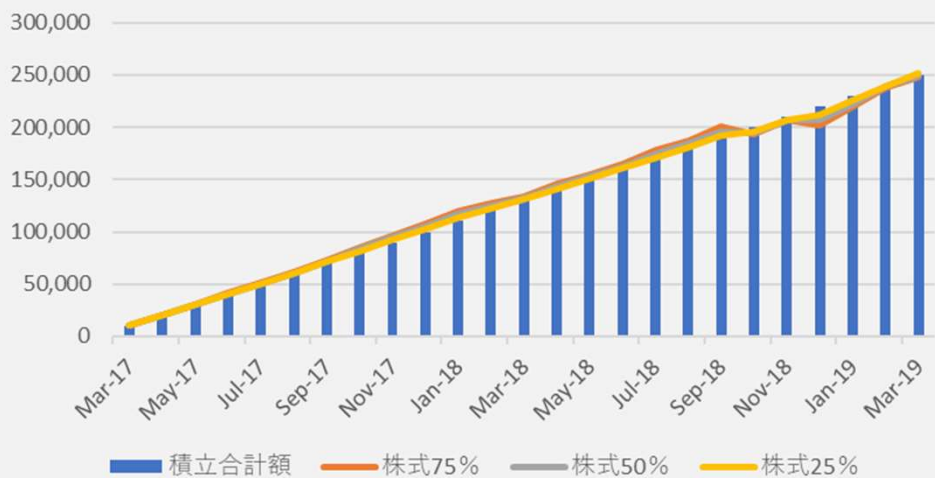
[info@fp-matsumoto.com](mailto:info@fp-matsumoto.com)

<http://fp-matsumoto.com>

2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

# 確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2019年1末	230,000	219,522	222,413	225,788
2019年2末	240,000	238,390	238,693	239,447
2019年3末	250,000	247,577	249,022	251,131

2017年3月から開始した積立投資は図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

## 投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

## 大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

## 株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

## 3月は前月比ほぼ変わらずで終わりました。

	日経平均	NYダウ	ドル円
2月末	21,385.16	25,916.00	111.37
3月末	21,205.81	25,928.68	110.84
騰落率	-0.84%	0.05%	

月の後半にアメリカで長短金利が逆転し、景気後退のサインととられ大きく売られる日もありました。

イギリスのEU離脱、米中貿易摩擦等、日々の株価を動かすニュースはこれらも続きます。過去においてもオイルショック、湾岸戦争、同時多発テロ、リーマンショック、など数々の課題がありましたが、資本市場はそれらを乗り越えてきました。

このような出来事を乗り越えて投資を長期継続することが成果を得るためのポイントになります。

## 分散投資の方法は？

4月に入り商品を見直すことを検討している人もいるかもしれません。

ただし、マーケットの状況やニュースなどによって頻繁に商品を変えることはせず、幅広く世界中の株式・債券に分散投資を継続することが長期的には成果を得る可能性が高いと言われています。

でもどの国にいくらづつ配分したらよいの？と感じる人もいるのではないのでしょうか？

今月は、国（地域）への配分割合の考え方について整理してみます。

確定拠出年金のような長期の積立投資では、日々の値動きによる収益ではなく、長期的な経済（＝企業）の成長の果実を受取ることを目的としています。

商品の配分を決めるための考え方は主に2つあります。

# 確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

## 1. 経済規模に準じた配分

まずは、世界の経済規模を確認してみましょう。下図は、2018年10月時点の世界のGDPを表しています。

( <https://www.imf.org/external/datamapper/NGDPD@WEO/OEMDC/ADVEC/WEOWORLD> )



これによると世界のGDPは84.84兆ドル、内訳は、先進国が51.32兆ドルで約60%、新興国が33.52兆ドルで約40%です。

日本のGDPは約5兆ドルなので、全体に占める割合は、約6%という事になります。

各国の経済の規模 = その国の企業活動、と考えることができるので、この規模に応じて商品の配分をする、というのが一つの考え方です。

## 2. 世界の株式市場の規模に準じた配分

もう一つの基準は株式市場の時価総額を基準にする方法です。

時価総額とは、「企業の株価×発行済み株数」、のことでその企業や株式市場の規模を見る時に利用する指標になります。

世界の株式市場を見る時に参考にする指標にMSCIオールカントリーインデックス (ACWI) という指数があります (日経平均株価の世界版のようなものと理解していただければ大丈夫です)。

これは、先進国、新興国合わせて47の国の時価総額を指数化したもので、世界の株式市場の85%をカバーしているので概ね世界全体の株式市場を表す指標と見て良いでしょう。

2018年9月末時点の比率を見ると以下のようになります。

日本：7.6%  
先進国：81.3%  
新興国：11.1%

## まとめ

世界の経済規模、株式市場の規模を見てきました。先進国と新興国の割合が両者で大きく異なっています。

経済規模では新興国の存在感は大きくなっていますが、そこで活躍しているのはまだ先進国の方が多いということでしょう。

どちらを基準にして資産配分を決めるか難しいところですが、株式投資は株式会社が生み出す利益を獲得することが目的なので、まずは時価総額ベースを基本にして成長性などを加味して決めてはいかがでしょうか？

また、自分が加入している確定拠出年金の選択商品に新興国がない場合は、それを除いて日本と先進国で割合を決めればよいでしょう。

国際分散投資は成果を得やすい方法ではありますが、時間をかける必要があります。

金額の大小よりも投資 (積立) の期間が重要になります。なるべく早く投資 (積立) をスタートして将来に対する不安を無くしてください。

## ちょっと気になるお金のコラム

この春、進学や進級をしたお子様をお持ちの方もいるのではないのでしょうか？

お子様のお小遣いをどうするか、いくらにするか悩む方もいるかもしれません。

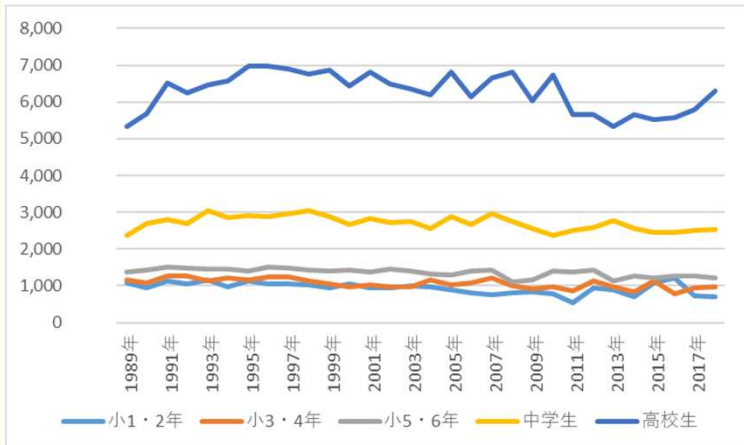
今月は、子どものお小遣いについて調べてみました。

「家計の金融行動に関する世論調査（平成30年）」（金融広報中央委員会の「知るぽると」）によると小学生から高校生のお小遣いの平均額は以下ようになります。

小1・2年	小3・4年	小5・6年	中学生	高校生
699	980	1,220	2,536	6,288

こうしてみると昔とあまり変わっていない印象を受けますがいかがでしょうか？

平成の30年間のお小遣いの推移を見てみると下図のようになります。

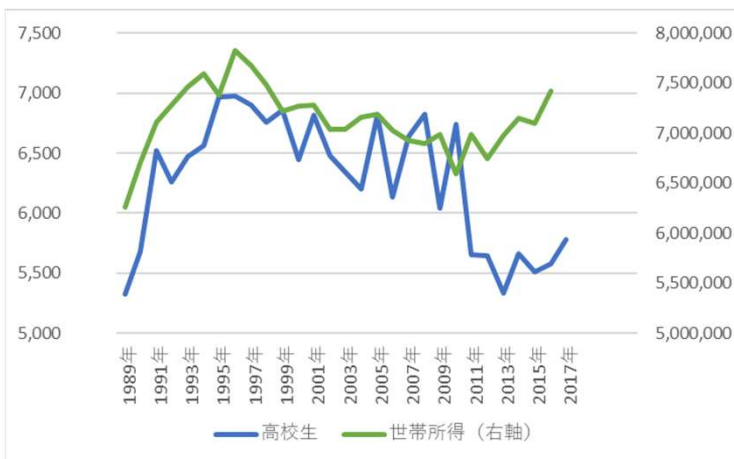


2010年以降、特に高校生のお小遣いが減った理由の一つに携帯電話（特にスマートフォン）の利用が増えたことが挙げられています。

親が携帯料金を負担し、その分お小遣いを減らすことで携帯電話の使い過ぎにならないようにしている家庭も多いようです。

図表は平均ですが、高校生になるとアルバイトをするケースもあり家庭によってばらつきが大きくなるようです。

下図は1989年から2017年までの児童がいる世帯の所得の推移と（平成29年 国民生活基礎調査の概況）高校生のお小遣いを重ねたものです。



高校生のお小遣いはやはり世帯所得に連動しているんですね。

最後に小学生のお小遣いの使い道について興味深い調査を紹介しします（小学生白書WEB版 学研教育総合研究所）。

	1位	2位	3位
2015年	お菓子などの食べ物	貯金	本・雑誌
2016年	お菓子などの食べ物	貯金	本・雑誌
2017年	お菓子などの食べ物	貯金	おもちゃ
2018年	貯金	お菓子などの食べ物	おもちゃ

2018年に貯金が初めて使い道の1位になったそうです。

このあたりも将来への準備が大切になった、という世相を反映しているのかもしれませんがね。





# お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎているか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

## ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

## FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方     | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方        |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について     |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について     |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方     | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方        |
| <input type="checkbox"/> その他             | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

(ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒  
<http://fp-matsumoto.com/contact/>



↓ FAX:050-3730-0380 ↓

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内